

「第2回川内川水系流域治水協議会」開催

本協議会では、河川における対策、流域における対策、ソフト対策をとりまとめた「川内川水系流域治水プロジェクト」を令和2年度末に策定・公表する予定としています。

今回の第2回協議会では、中間とりまとめに向け、第1回協議会以降に個別開催した幹事会により各機関から挙げられた流域治水の取組内容（案）について情報共有し、議論しました。

また、平成18年鹿児島北部豪雨災害を経験された隈元伊佐市長より、「洪水から得られたもの」と題して講話を頂きました。

開催概要

- 日時：令和2年9月29日（火） 13:30～15:00
- 会場：大口ふれあいセンター

協議会の構成委員

薩摩川内市	市長	岩切 秀雄	
さつま町	副町長	上野 俊市	代理
伊佐市	市長	隈元 新	
湧水町	町長	池上 滝一	
えびの市	建設課長	森 隆秀	代理
気象庁 鹿児島地方気象台	気象防災情報調整官	内山 久人	代理
気象庁 宮崎地方気象台	台長	吉松 和義	
鹿児島県 土木部	技術次長	野中 典理	代理
宮崎県 県土整備部 河川課	課長	小倉 弘康	
宮崎県 県土整備部 都市計画課	課長	横山 義仁	
宮崎県 危機管理局	局長	温水 豊生	
九州地方整備局 川内川河川事務所	所長	安部 宏紀	
九州地方整備局 鶴田ダム管理所	所長	三浦 錠二	

伊佐市長講話

「洪水から得られたもの～平成18年鹿児島北部豪雨災害を経験して～」

講話：伊佐市長 隈元 新 氏

伊佐市長



○質問等

- 避難所に行かない人をどう誘導するか。
→避難するという空気を作ることが大切。
そのためにはマスコミの力も必要になってくる。



議事内容

- ・ 中間とりまとめに向けて現時点における対策（案）の情報共有を行い、各機関より事前防災の取り組み事例や計画等の発言をして頂いた。（※参照：協議会資料-3、参考資料）
- ・ 令和2年度末のプロジェクト策定に向けて、今後の協議会スケジュールについて確認を行った。

主な意見等

- ・ ソフト面において、支川の浸水想定（浸水実績）等のリスク情報の作成や、監視カメラ・水位計などを活用した危険箇所などのリアルタイムの情報を、関係機関で共有することが必要。



薩摩川内市長



湧水町長



さつま副町長



ZOOM参加
(宮崎地方気象台、宮崎県)



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所 調査課
〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20番2号 Tel 0996-22-3271